

日中友好条約締結 40 周年記念

兵庫県・広東省大学生交流プログラム派遣者募集

2018 年は「日中友好条約締結 40 周年」の記念の年となります。日本航空ではこの記念の年に日本と中国の友好のさらなる深化を目的として、広東省との友好提携 35 周年にあたる兵庫県の大学生を広東省に派遣し、交流を図っていただくプログラムを実施します。広東省は中国の中でもとりわけ経済力のある地域で、本プログラムでは「中国のイノベーション」と言われている深圳市も視察します。中国の実情を実際に見て聞いて体験して、日本の将来を担う大学生の皆さまに、将来の活躍に活かしていただくプログラムです。

派遣先：中国広東省（広州市、深圳市）

派遣期間：2018 年 9 月 12 日（水）～16 日（日）

派遣人数：8 名

派遣者：以下のすべての要件を充たす者

- ①日本国籍を有することまたは日本への永住が許可されていること。
- ②兵庫県内の大学に在籍していること（年齢、学部・大学院、専攻分野を問わない）
- ③所属大学からの推薦を得られること
- ④中国及び今後の日中関係の深化に対して高い関心を持ち、本プログラムを通じて得た体験を将来活かす志のあること
- ⑤本プログラムにおける意見交換・交流行事等へ積極的に参加できること
（中国語が話せなくても可）
- ⑥プログラム終了後、1200 字程度の感想文を含むアンケートに回答できること
- ⑦別紙記載の「参加者負担」費用を支払えること
- ⑧プログラムに同行する報道関係者の取材に応じるとともに、報道時の肖像・発言内容の使用に同意できること

提出書類：①申込書（様式 1）、②志望動機書（様式 2）、③成績表、
④中国語・英語力証明書（任意）

提出先：国際部国際交流課

提出期限：2018 年 5 月 18 日（金）※持参または郵送の場合必着

選考方法：【学内選考】書類選考及び面接

【最終選考】提出書類による書類選考（必要に応じて、面接を実施することもあります）

学内面接：2018 年 5 月 21 日の週

派遣決定：2018 年 6 月下旬

その他：派遣決定後に説明会（講習会）を実施する予定ですが、詳細が決まり次第、派遣決定者にお知らせします。

主催：広東省外事辦公室、日本航空、留東同学会

後援：兵庫県（申請中）、公益財団法人兵庫県国際交流協会（申請中）

交流プログラムの概要について

(1) 旅行費用

【主催者負担】

- ・伊丹空港（復路は関西国際空港）－羽田空港－広州白雲空港の往復航空運賃
- ・初日の国内宿泊費（羽田空港付近で日本航空が手配）
- ・現地での宿泊費（3泊、ホテルでの3回の朝食代含む）
- ・3日目・4日目の昼食代
- ・2日目・4日目の夕食代
- ・広州－深圳および広州市内貸し切りバス代

【参加者負担】

- ・自宅と伊丹空港、関西国際空港の間の往復交通費
- ・1日目、5日目の昼食代、1日目・3日目の夕食
- ・個人の出費に関わる費用（パスポート取得費用、海外旅行保険（学研災付帯海学）保険料（4日間：¥2,110）、上記以外の飲食費、土産代など）

(2) スケジュール（都合によりスケジュールを変更することがあります）

- 9月12日 午前 伊丹空港発 羽田空港着
午後 羽田空港内の日本航空機体工場（格納庫）・オペレーションセンター
見学（羽田空港付近のホテル泊）
- 9月13日 朝 羽田空港発 JAL087 便にて広州白雲空港へ
午後 到着後広州市内視察
夜 広東省政府による歓迎の夕べ（宿泊先：鵝潭賓館）
- 9月14日 朝 専用バスにて深圳市へ
終日 イノベーション都市として最先端技術を行く深圳市視察
夕方 専用バスにて広州市へ
夜 広州市内で各自夕食（宿泊先：鵝潭賓館）
- 9月15日 午前 広州市内の大学で現地学生と交流
現地学生とパネルディスカッション
現地の日本語を学ぶ大学生と日本語でのパネルディスカッションです。
中国の現状や最先端都市・深圳を視察したうえで感じたことや、日中関
係を深化させていく方策などをテーマに意見交換を行います。
昼 大学内学生食堂にて現地学生と交流会
午後 現地大学生と広州市内視察
夜 日本航空主催による晩餐会（宿泊先：鵝潭賓館）
- 9月16日 午前 広州市内視察
午後 広州白雲空港発 JAL088 便にて羽田空港へ
夜 羽田空港 JAL229 便にて関西国際空港へ 到着後解散(22:00～)

(3) 問い合わせ先

国際部国際交流課

担当：後藤（電話 078-803-5262 / email: intl-exchange@office.kobe-u.ac.jp）